

「ずっと住み続けたいまち」「もっと良いまち」を目指して

# 心豊かに暮らし 続けられるまちに

西脇市長 片山 象三



今後30年間で若い女性が半減すると見込まれる「消滅可能性自治体」に、本市もわずか9人及ばず対象となりました。こうした中、私は暮らしやすいと実感できるまちづくりを着実に進めていくことが重要であると考えており、産業振興や基盤整備、女性が活躍しやすい社会づくりなど、バランスの取れた総合的な取り組みを推進することと併せて、子どもを生み育てやすい地域づくりを進めていくことが、持続可能なまちにつながっていくものと考えています。

新たに策定した総合計画・後期基本計画に基づき、誰もが生涯にわたって生き生きと暮らし続けられるまち、誇りを持って次世代に引き継いでいけるまちを築いてい



建設が進む国道175号西脇北バイパス

くため、引き続き最大限の努力をもって市政を推進してまいります。  
■魅力ある産業・活力ある地域経済の創出

令和8年春には国道175号西脇北バイパスが開通する予定であ

り、広域交通ネットワークがより一層強化されます。この好機を生かし、高松地区の開発や寺内ラング周辺の開発計画を、民間活力を利用しながら、地域、行政が一体となって推進していきます。

地域経済の活力を高めるため、

デジタル技術を活用した地域商品券を新たに導入します。プレミアム付デジタル商品券を発行し、地域経済の活性化と域内経済循環の促進を図るとともに、物価高騰に対する生活支援を進めていきます。

■活力生み出す都市基盤の整備と多様な交流の促進

人口減少によって生活サービスなどが縮小していく恐れがあります。このため、中心市街地に都市機能などを集積し、活力を高めて

いくことが必要であり、基盤整備を進めていきます。農村地域では、土地利用の見直しなどを進めて人呼び込み、活力を維持していきます。  
また、多くの来場が見込まれる大阪・関西万博の開催という好機を生かし、兵庫県などと地域の魅力発信に努めるとともに、地域食材を活用したおもてなしイベントを開催し、誘客の促進に努めます。  
都市部との重要なアクセス手段となる鉄道路線、バス路線については、地域一体となって利用促進を図ることで、公共交通ネットワークを維持していきます。

■子ども豊かな社会と少子化対策の推進

少子化の進行に歯止めをかけ、

健やかな子どもたちを育てていくために、子ども・子育て世帯に寄り添った対応が必要です。結婚、妊娠、出産、子育て期など、各ステージや個々の課題に応じた切れ目ない支援を進めていきます。

そして、子どもを生み育てやすい環境を創り上げ、出産や子育ての希望が実現する社会、楽しく子育てができる地域づくりを進めていきます。

■未来を切り拓く力を培う教育

子どもたちには、生涯にわたって主体的に学び続ける力、異なる価値観を持つ多様な他者と対話し、問題を発見・解決できる力が求められます。こうした力は、一朝一夕に身に付くものではなく、長期

間にわたる体系的な学びが必要です。0歳から15歳まで一貫した教育、年齢や発達に応じた学びを進め、社会の変化に即した教育環境を創出していきます。

■誰もがいきいきと活躍できる地域づくり

人口減少が進む中、一人一人の人材を大切にし、誰もが地域社会の一員として活躍できる社会を目指していくことが必要となります。SDGsが掲げる「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現に向け、性別や年齢、障害の有無、国籍などにかかわらず、生涯にわたって誰もがその人らしく活躍できる地域づくりを進めていかなければなら



市議会で施政方針を述べる片山市長

いと考えています。

■おわりに

本年度、新市誕生から20年という記念すべき年を迎えます。市制

20周年のテーマは「ずっと、もっと、ぎゅっと 西脇」です。このテーマに基づき、多彩な記念事業を展開していきます。記念事業を通じて、市民の皆さまがこれまでの軌跡を改めて見つめながら「ふるさと」への愛着と誇りを深める機会となることを願っています。そして、将来にわたって持続可能な魅力あるまち、誰もが心豊かに暮らし続けられるまちをともに創造していきたいと考えています。市民の皆さまに引き続き温かいご理解とご協力をお願い申し上げます。(施政方針から抜粋/全文は市ホームページ/RコードIIに掲載)



## 第2次西脇市総合計画 後期基本計画を策定

総合計画は、これからのまちづくりの方向性を示す本市の最上位計画で、市の事業や分野別の計画の基礎となるものです。人口減少の進行や災害リスクの高まり、デジタル技術の進展など、社会環境が大きく変化中、前期基本計画の終期を迎えることなどを踏まえて、新たに後期基本計画(計画期間=令和7年度~12年度)を策定しました。

計画に掲げる7つの柱に沿った政策を展開し、市民の皆さんが生涯にわたって生き生きと暮らし続けられる持続可能なまちづくりを進めます。



### — 7つの柱と主な政策 —

- 第1章 未来を拓く次世代が育まれるまち
    - ・子育てにやさしい環境をつくる
    - ・学校教育を充実する
  - 第2章 つながりによる安心とうるおいが実感できるまち
    - ・地域医療を守る
    - ・高齢者福祉を充実する
    - ・環境にやさしい市民生活を進める
  - 第3章 安全で快適な生活基盤が整うまち
    - ・防災基盤を整備する
    - ・公共交通を守る
  - 第4章 地域特性を生かした産業とにぎわいがあふれるまち
    - ・魅力ある農畜産物を生産する
    - ・観光・交流を振興する
  - 第5章 生涯活躍・共生社会の実現
    - ・健康づくり習慣の定着を進める
    - ・文化芸術・スポーツを振興する
    - ・男女がともに輝く社会を実現する
  - 第6章 多様な主体による地域自治の確立
    - ・参画と協働のまちづくりを進める
    - ・持続可能なコミュニティをつくる
  - 第7章 戦略的で持続可能な行政経営の推進
    - ・持続可能な財政運営を行う
    - ・分かりやすく利便性の高い窓口業務を行う
- ▶問合せ 経営戦略課 (市役所内線3046)



# 令和7年度の新規・拡充事業紹介

— 年度当初の一般会計予算は235億6千万円 —

施策の重要性、必要性、緊急性などを考慮しながら、前年度に引き続き積極的な予算編成を行いました。今年度の主な新規事業と拡充事業についてお知らせします。

プレミアム付き商品券発行  
デジタル地域商品券で消費喚起



20%のプレミアム付デジタル地域商品券の発行を支援します。市内の消費喚起を図るとともに家計を応援します。また、18歳以下の子どもがいる世帯を対象に、購入できる枠を増やし、子育てを応援します。

また、すでに流通している紙の共通商品券からデジタル地域商品券の移行を支援します。

- 地域商品券デジタル化普及支援事業 ……1060万円
- プレミアム付デジタル地域商品券発行事業 ……7950万円

市制20周年記念事業開催  
皆さんと節目の年をお祝い



西脇市は、平成17年に旧西脇市と旧黒田庄町が合併し、新市が誕生してから20年を迎えます。「ずっと もっと ぎゅっと 西脇」をテーマに、年間を通じてさまざまな記念事業を開催し、市民の皆さんと節目の年をお祝いします(10~12月に関連記事)。

また、10月には記念式典を挙行政します。各分野で市政発展に貢献された個人や団体を表彰するとともに、次代に向けてさらなる市の発展を誓います。

- 市制20周年記念事業・式典 …… 698万円

## 分野を超えた支援の充実 福祉部門の支援体制整備

子ども、障害、高齢、生活困窮など、分野別では対応しにくい複雑化した支援ニーズに対し、一体的に対応する包括的な体制を整備します。

- 重層的支援体制整備事業 ……2億4365万円



## 部活動の熱中症対策 体育館や格技場の環境改善

部活動時などの熱中症対策として中学校の体育館と格技場にスポットクーラーを導入します。また、空調設備を設置するための設計を行います。

- 中学校管理運営事業・中学校施設整備事業 ……3011万円



## 充実した学習環境整備 小・中学校の教育DX推進

GIGAスクール構想における1人1台端末を更新します。また、学校のネットワーク環境を整備し、通信速度の改善を図ります。

- 小・中学校情報化推進事業 ……1億7737万円



## ごみ出し困難者の支援 みどり園による戸別収集

ごみの搬出が困難で他人の協力が得られない高齢者と障害のある方を対象に、西脇多可行政事務組合が生活ごみの戸別収集を実施します。

- 西脇多可行政事務組合負担金(ごみ出し支援) ……240万円



## 若者向け住宅建築費助成 子育て世帯の移住・定住促進

対象の市有地を購入し、住宅を建築する若者や子育て世帯に建築費を助成します。経済的負担を軽減し、若者や子育て世帯の移住・定住を促進します。

- 移住支援事業(若者向け移住定住促進事業) ……700万円



## パークアンドライド助成 公共交通の利用促進

JR加古川線や路線バスの定期券を購入し、月極駐車場を利用して通勤・通学する方を対象に、駐車料金を補助します(16月に関連記事)。

- 公共交通対策事業(パークアンドライド促進) ……120万円



## 快適な健康づくりの場に スポーツセンター設備改修

天神池スポーツセンター温水プールの空調と給湯設備を改修します。健康づくりの施設として、引き続き安心して快適に利用できるようにします。

- 天神池スポーツセンター管理事業 ……3億5465万円



## 特産品でおもてなし イベントで地域食材をPR

黒田庄和牛や日本酒、イチゴなど、特産品を生かした食のイベントを開催します。横尾忠則さんがラベルをデザインするオリジナルの日本酒を作製します。

- 日本のへそ西脇地域食材でおもてなし支援事業 ……800万円



## JR加古川線の利用促進 通勤・通学や団体利用を支援

JR加古川線(西脇市駅~谷川駅間)の通勤・通学定期券や団体利用時の運賃を補助します。また、沿線のにぎわいづくりの活動を支援し、利用促進を図ります(16月に関連記事)。

- 鉄道利用促進事業 ……806万円



## 不妊治療の助成 保険適用外の先進医療費助成

保険適用外である先進不妊治療費を助成します。夫婦の経済的負担を軽減するとともに、子どもを望む思いを実現できる環境づくりを進めます。

- 先進不妊治療費助成事業 ……102万円



## 幼児の健康づくり支援 5歳児の健康診査実施

言語理解力や社会性が高まる時期となる4、5歳児に健康診査を実施します。幼児の健やかな成長と育児不安の軽減を図り、就学に向けた支援につなげます。

- 5歳児健康診査事業 ……132万円



## 安全・安心な給食の提供 対象の認定こども園に助成

園児の食物アレルギーに対応するために調理員などを増やす認定こども園に対して経費を助成します。安全で安心な給食を提供できる体制を確保します。

- 食の安全・安心推進事業 ……144万円

